



2023年3月期 第1四半期決算短信(IFRS)(連結)

2022年8月5日

上場会社名 日新製糖株式会社
 コード番号 2117 URL <https://www.nissin-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 亮
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 大場 健司
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03 - 3668 - 1293

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	12,588	8.7	607	12.6	672	14.7	428	19.7	428	19.7	542	4.1
2022年3月期第1四半期	11,583	9.7	694	21.9	788	17.0	533	111.2	533	111.2	520	104.1

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	19.38	
2022年3月期第1四半期	24.14	

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	62,909	48,570	48,570	77.2
2022年3月期	61,134	48,904	48,904	80.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		33.00		34.00	67.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		34.00		33.00	67.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,000	5.7	800	38.0	900	34.6	600	35.4	600	35.4	27.15
通期	49,000	6.4	1,600	26.1	1,800	25.5	1,300	24.2	1,300	24.2	58.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	22,673,883 株	2022年3月期	22,673,883 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	578,113 株	2022年3月期	578,113 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	22,095,770 株	2022年3月期1Q	22,087,060 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済につきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化が進んできた一方で、ウクライナ情勢の緊迫化による資源価格上昇や日米金利差拡大を背景とした円安、中国におけるゼロコロナ政策等の影響を受けており、依然として厳しい環境が続いています。

当第1四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことを受け、売上収益は12,588百万円（前年同期比8.7%増）となりました。一方で、原料調達コスト・エネルギーコスト等の上昇により、営業利益は607百万円（同12.6%減）、税引前四半期利益は672百万円（同14.7%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は428百万円（同19.7%減）となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

[砂糖その他食品事業]

海外原糖市況につきましては、1ポンド当たり19.42セントで始まり、ロシアのウクライナ侵攻によりエネルギー価格が高騰する中、収穫期を迎えた主要生産国ブラジルでサトウキビ生育が遅れたことや同国がバイオエタノールの生産を優先させるとの思惑から、砂糖生産量の減少が懸念され、4月中旬に今期高値となる20.51セントまで値を上げました。その後は欧米など主要各国のインフレ抑制のための積極的な金融引き締めにより国際商品市場から投機資金が流出したことで、海外原糖市況も6月下旬には今期安値となる18.20セントまで値が下がり、当第1四半期は18.83セントで終了しました。

海外原糖市況（ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限））

	日付	セント/ポンド	円/kg	為替（円/ドル）
始 値	2022年4月1日	19.42	52.75	123.20
高 値	2022年4月13日	20.51	57.25	126.62
安 値	2022年6月27日	18.20	54.41	135.61
終 値	2022年6月30日	18.83	57.15	137.68

（注）1ポンドは約0.4536kgとして換算し、為替は当日の三菱UFJ銀行直物為替公表TTSによっています。

国内精糖市況（日本経済新聞掲載、東京）につきましては、前期末から変わらず上白糖1kg当たり204～205円で当第1四半期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、行動制限緩和による人流の増加によって土産菓子・外食関係に回復が見られ、天候に恵まれたことにより飲料・冷菓等の出荷についても好調に推移したことで、業務用製品は増加しました。家庭用製品は菓ごもり需要が減少するなか、氷砂糖は青梅の不作により減少したものの、当社独自製品のきび砂糖の出荷は好調に推移しました。その結果、砂糖全体の出荷量は前年同期を上回りましたが、利益面においては、原料調達コスト、エネルギーコストおよび物流コスト等の上昇により、前年同期を下回りました。

ツキオカフィルム製薬株式会社につきましては、フィルム事業においてフィルム石鹼等の需要が一巡したことにより減収減益となりました。

以上の結果、砂糖その他食品事業合計の売上収益は11,490百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は500百万円（同31.3%減）となりました。

〔健康産業事業〕

健康産業事業につきましては、まん延防止等重点措置等の行動制限がなかったことや感染者数が減少したこと等により会員数は回復傾向にあるものの、そのスピードは鈍くコロナ前の水準には戻っていません。売上収益は641百万円（前年同期比37.3%増）、セグメント損失は11百万円（前年同期はセグメント損失105百万円）となりました。

〔倉庫事業〕

倉庫事業につきましては、港湾運送において輸入合板の取扱量が大幅に増加したことにより、売上収益は456百万円（前年同期比23.0%増）、セグメント利益は118百万円（同67.4%増）となりました。

なお、当社は株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しにより、2022年4月4日付で市場第一部からプライム市場に移行しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は26,485百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,407百万円増加しました。これは主に現金及び現金同等物が435百万円減少した一方で、営業債権及びその他の債権が546百万円、棚卸資産が1,338百万円それぞれ増加したことによるものです。非流動資産は36,424百万円となり、前連結会計年度末に比べ367百万円増加しました。これは主に有形固定資産が192百万円減少した一方で、使用権資産が548百万円増加したことによるものです。

この結果、資産合計は62,909百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,774百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は9,233百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,636百万円増加しました。これは主に営業債務及びその他の債務が1,203百万円、その他の流動負債が475百万円それぞれ増加したことによるものです。非流動負債は5,105百万円となり、前連結会計年度末に比べ472百万円増加しました。これは主にリース負債が490百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は14,339百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,108百万円増加しました。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は48,570百万円となり、前連結会計年度末に比べ333百万円減少しました。これは主に親会社の所有者に帰属する四半期利益428百万円および配当金の支払による減少751百万円によるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は77.2%（前連結会計年度末比2.8ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、経済活動が徐々に正常化に向かうことが期待されますが、ウクライナ情勢等による影響が懸念され、引き続き予断を許さない状況にあります。

砂糖その他食品事業につきましては、精製糖事業において、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により需要回復が見込まれますが、円安、エネルギーコスト高騰の影響を受け、業界環境は依然として厳しい状況です。このような状況のもと、当社は生活必需品である砂糖を消費者の皆様へ安定供給し、社会的責任を果たすことを最優先として取り組んでまいります。

その他食品事業におきましては、子会社ツキオカフィルム製菓株式会社において、既存市場の更なる深耕と販売拡大に向けた新たな用途と商品の開発に努めてまいります。

健康産業事業におきましては、新型コロナウイルス感染症が再拡大し、今後の動向が不透明な状況のもと、オンラインレッスン配信の拡充や店舗リニューアルを実施しつつ、IT化によるコスト削減を推進、コロナ禍における新常态を見据えたサービス・運営体制を新たに構築し、早期の業績回復を目指してまいります。

倉庫事業におきましては、冷蔵倉庫・港湾運送ともに在庫水準の維持、稼働率の向上に努めてまいります。

以上の結果、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当社は2022年6月10日開催の取締役会において、伊藤忠製糖株式会社との間で、両社の経営統合に関して基本合意書を締結することを決議し、同日締結いたしました。

本経営統合は、両社が長年に亘って培ってきた製造技術、品質・コスト管理、そして原料調達から物流・販売まで含めた広範な経営資源・ノウハウの一体的な活用により、砂糖の安定的な供給体制をより一層盤石なものとし、持続的な成長と企業価値の向上を図ることを目的としております。

本経営統合が当社の2023年3月期業績予想へ与える影響については、協議の進捗とともに今後精査する予定ですが、本経営統合に向けた協議の進捗に応じて公表すべき事項が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	7,649	7,213
営業債権及びその他の債権	4,827	5,374
その他の金融資産	6,140	6,102
棚卸資産	6,204	7,543
その他の流動資産	255	251
流動資産合計	25,078	26,485
非流動資産		
有形固定資産	11,238	11,046
使用権資産	2,787	3,336
のれん	2,515	2,515
無形資産	311	293
持分法で会計処理されている投資	11,925	11,954
その他の金融資産	5,960	5,984
退職給付に係る資産	670	656
繰延税金資産	142	138
営業債権及びその他の債権	5	6
その他の非流動資産	498	491
非流動資産合計	36,056	36,424
資産合計	61,134	62,909

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	1,300	1,300
営業債務及びその他の債務	3,028	4,231
リース負債	944	934
その他の金融負債	32	131
未払法人所得税等	403	271
その他の流動負債	1,889	2,364
流動負債合計	7,597	9,233
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	0	0
リース負債	2,908	3,399
その他の金融負債	108	102
退職給付に係る負債	262	265
引当金	419	420
繰延税金負債	896	880
その他の非流動負債	35	35
非流動負債合計	4,632	5,105
負債合計	12,230	14,339
資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	11,614	11,618
自己株式	△292	△292
その他の資本の構成要素	1,488	1,474
利益剰余金	29,093	28,770
親会社の所有者に帰属する持分合計	48,904	48,570
資本合計	48,904	48,570
負債及び資本合計	61,134	62,909

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	11,583	12,588
売上原価	9,323	10,338
売上総利益	2,260	2,249
販売費及び一般管理費	1,577	1,642
その他の収益	17	2
その他の費用	6	3
営業利益	694	607
金融収益	44	56
金融費用	16	20
持分法による投資利益	65	29
税引前四半期利益	788	672
法人所得税費用	255	244
四半期利益	533	428
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	533	428
非支配持分	—	—
四半期利益	533	428
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	24.14	19.38

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	533	428
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	△28	12
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△28	12
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	15	101
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	15	101
税引後その他の包括利益	△12	113
四半期包括利益	520	542
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	520	542
非支配持分	—	—
四半期包括利益	520	542

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年4月1日時点の残高	7,000	11,603	△296	3	1,401
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	15	△28
四半期包括利益合計	—	—	—	15	△28
自己株式の取得	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	3	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	△7	—
所有者との取引額合計	—	3	—	△7	—
2021年6月30日時点の残高	7,000	11,607	△296	12	1,373

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	合計
	確定給付制度の再測定	合計			
2021年4月1日時点の残高	—	1,405	28,830	48,543	48,543
四半期利益	—	—	533	533	533
その他の包括利益	—	△12	—	△12	△12
四半期包括利益合計	—	△12	533	520	520
自己株式の取得	—	—	—	—	—
配当金	—	—	△728	△728	△728
株式報酬取引	—	—	—	3	3
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—
非金融資産への振替	—	△7	—	△7	△7
所有者との取引額合計	—	△7	△728	△732	△732
2021年6月30日時点の残高	—	1,386	28,635	48,332	48,332

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2022年4月1日時点の残高	7,000	11,614	△292	35	1,453
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	101	12
四半期包括利益合計	—	—	—	101	12
自己株式の取得	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	3	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	0
非金融資産への振替	—	—	—	△128	—
所有者との取引額合計	—	3	—	△128	0
2022年6月30日時点の残高	7,000	11,618	△292	8	1,466

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	合計
	確定給付制度の再測定	合計			
2022年4月1日時点の残高	—	1,488	29,093	48,904	48,904
四半期利益	—	—	428	428	428
その他の包括利益	—	113	—	113	113
四半期包括利益合計	—	113	428	542	542
自己株式の取得	—	—	—	—	—
配当金	—	—	△751	△751	△751
株式報酬取引	—	—	—	3	3
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	0	△0	—	—
非金融資産への振替	—	△128	—	△128	△128
所有者との取引額合計	—	△128	△751	△875	△875
2022年6月30日時点の残高	—	1,474	28,770	48,570	48,570

- (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。